

低学年

はっぴょう ルーブリック	S	A	B	C
<p>じぶんから はっぴょうできた</p>	<p>じぶんから手をあげてはっぴょうした。ともだちのはっぴょうに、しつもんやかんそうが言えた。</p> 	<p>じぶんから手をあげてはっぴょうした。</p> 	<p>先生にあてられて、じぶんではっぴょうした。</p> 	<p>先生といっしょにはっぴょうした。</p> 
<p>はっぴょうないよう</p>	<p>じぶんでかんがえたことをせつめいできるようにまとめた。</p>	<p>まえべんきょうしたことをつかってかんがえた。</p> 	<p>ともだちのかんがえや、先生のヒントをきいてかんがえた。</p> 	<p>先生といっしょにかんがえた。</p> 
<p>はっぴょうのしかた</p> <p><input type="checkbox"/>①③のこえてはっぴょうした。</p> <p><input type="checkbox"/>②ともだちのほうをむいてはっぴょうした。</p> <p><input type="checkbox"/>③大きなしゅわではっぴょうした。</p>	<p>①②③すべてできた。ともだちにつたわるようにくふうした。</p>	<p>①②③すべてできた。</p>	<p>①②③の中から2つできた。</p>	<p>①②③の中から1つはできた。</p>
<p>はっぴょうのききかた</p> <p>うなずく、あいてのほうをみる など</p>	<p>あいてのほうを見て、うなずきながらきいた。しつもんやかんそうをかんがえながらきいた。</p> 	<p>あいてのほうを見て、うなずきながらきいた。</p> 	<p>あいてのほうを見てきいた。</p> 	<p>せんせいに言われて、あいてのほうを見た。</p> 

中学年

発表用ルーブリック	S	A	B	算数・理科
〈伝わる〉 ・手話 ・音声 ・口形 ・態度 ・目線	A+友だちの方を見て最後まで発表することができる。	B+口形を意識できる。	手話か音声をつけて発表することができる。	伝え方
〈言葉〉 ・使ってほしい言葉 ・定型文 ・接続詞	A+理由や自分の経験やよさにふれながら発表できる。	B+学習した言葉を使って発表できる。	定型文や接続詞を使って発表することができる。	ことば
〈スライド・図・表〉 ・ノート ・色づかい ・見やすさ	A+図や表を用いる。	最後まで正しく書くことができる。	先生と一緒に最後まで書くことができる。	書き方

高学年

発表用ルーブリック	S◎	A○	B○	C・
内容	趣旨に沿っている。 理由を付けて。	趣旨に沿っている。	自分の考えをもって。	ヒントや他者の意見を参考に。
コミュニケーション手段	音声と手話を使って。 相手を意識して。	音声と手話を使って。	自分の得意なコミュニケーションモードを使って。	教師の手助けを受けながら。
表現	教科の用語を使って。	教科の用語に近い言葉を使って。	自分なりの言葉で。	言葉以外の方法を使って。
聞き方	自分の考えをもって。	 あいづちをうちながら。	相手に注目しながら。	教師の促しを受けながら。
文章構成			定型文のモデルに沿って。	教師と一緒に。

重複

	S	A	B	C
定型文を使用した発表をする。	定型文を覚えて、発表した。	掲示してある定型文を見ながら、発表した。	教師の支援を受けながら、教師と一緒に発表した。	発表者ということがわかり、前に出てカードを提示した。
自分のきもちを発表する。	理由を伴わせて気持ちを伝えた。	気持ちを言葉で伝えた。	気持ちのカードを選じた。	教師と一緒に気持ちのカードを選じた。
質問に答える。	質問に合った返答をした。	質問に対して、答えようとした。	質問に対して、手をあげたり、反応したりした。	教師と一緒に、手を上げた。
話者に注目する。	話者の話を聞きながら聞いた。	話者が話している間、ずっと見ていた。	少しの間話者を見た。	教師に促されて話者を見た。